



本校では「放課後学習サポート」を毎日実施しています。教科は算数が中心で「分数がわかった!」などと言っている児童が多く、保護者の評価も上々です。「わかる授業」「T・T指導」「習熟度別学習」と並び、学力向上策の一環として今後も充実させていきます。(旭川市立豊岡小学校)

No. 116 (平成 26 年 3 月 1 日)

おもな内容

随想	1
研究の成果と課題, 研究員の実践	2
研究員の実践・研究協力校の実践	3・4
研修講座寸描	5~7
平成26年度研修講座開催一覧	8
出前講座寸描	9・10
心に残る授業 その⑧	10
お知らせ	10



随想

倒木更新の教え

上川教育研修センター

副所長 矢口元晴

十年ほど前、数千年の樹齢を誇るスギの木で有名な屋久島を訪れたことがある。数千年の時を経てどっしりと構える古木の樹皮は波打ち、人知を超えた神々しささえ感じられた。そこで訪れたスギ林で、数本が一直線上に並び、根元にぼつかりと空洞があるスギに出会った。ガイドの説明で、それが木の世代交代の「倒木更新」という自然現象で育ったものであることを学んだが、最近、北海道の森林にも同様の現象が見られることを知った。

昨年、富良野市山部の東京大学北海道演習林にご勤務され、長らく研究に携わってこられた倉橋昭夫氏に、芦別岳の麓に設置された「ふれあいの森」をご案内いただいた。熊よけの鈴とラッパを吹き鳴らしながら、雨にぬれたエゾマツ林に分け入り、程なく薄日差す朽ちかけた倒木の上に発芽して間もないエゾマツの稚樹を見つけた。これこそが、倒木更新の現場だった。強風などの原因で倒壊した木が大地に倒れ、長年の風雨で朽ち、表面には苔が生え、幸運にもこの上に落下したエゾマツの種子だけに発芽と生育の条件が与えられるのである。地面の雪腐病菌など様々な悪条件を避けて発芽し生き延びるためには、倒壊し朽ちた親木の上が最適なのだという。今回の現場にも、適度に保湿される苔が生え、他よりも高いことで下草にもじゃまされず光が

当たり、発芽し成長するために必要な栄養分も十分確保できる条件がそろっていた。更に進むと一本の朽ち木を覆うようにして成長した樹齢数十年はたつたと思われる数本のエゾマツに出会うこともできた。

苔生す朽ち木のかすかなぬくもりが北国の厳しい自然環境から若芽を守り続けていることに気づくとき、自然界の仕組みの妙に感動するとともに人を育てることとに携わる者としての心構えに思いが至った。老木が倒れて、自らの身を捧げて次世代の若木を育てていく姿は、私たち人間社会の在り方と重なる。これを人づくりの基盤をなす親子関係に例えるならば、親が捨て身で子を守り、子はその親の恩を忘れまいとする報恩の姿そのものである。「人づくりは、国づくり」と言われるが、世の中に忘恩がはびこれば、国に行く末は危うい。

現代の子どもたちは、物に恵まれ、快適で健康な環境の下で何不自由ない生活を送っているが、他人を思いやる様々な体験を通して、優しさと厳しさの両面がらしないやかで豊かな心も育てなければならぬ。命を軽んじる事件が後を絶たない昨今、次代を担う子どもたちの育ちのために、私たちが倒木更新に学ぶことはつきない。



本校ではカーリング競技を体育科の授業として教育課程に位置付けています。ストーンを投げる姿勢や力加減などの技能を習得するために、真剣に取り組んでいます。写真は、三年生の白熱した試合の様子です。(南富良野町立南富良野中学校)

センター日誌

- 11月14日 研修事業拡大会議
 - 12月10日 冬季拡大研究会議
 - 12月19日 センター運営協議会
 - 12月26日 1月10日 研究室冬季集中研
 - 1月6日 冬季合同所員研修会
 - 1月23日 センター組合教育委員会会議
 - 2月4日 センター研究発表会
 - 2月14日 センター組合協議会定例会
 - 3月1日 センターだより第116号発行
 - 3月31日 平成26年度研修講座開催要項
- 平成25年度研究紀要第39号 発送

上川教育研修センターでは、理論研究と実践検証を行った結果、3年次は、次のような成果と課題を明らかにすることができた。

成果

- 単元全体を通して「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点をバランスよく指導計画に位置付けることにより、単元の目標達成につながることができた。
- 目標と評価規準を関連付けて、指導内容を明確にしたことにより、1単位時間の目標達成の状況を明らかにすることができた。
- 学習の流れが分かる板書を工夫することにより、児童生徒が授業について振り返ることができ、そのことが学習の定着につながった。また、ノート指導に関連付けて実践することができた。
- 形成的評価や自己評価を学習評価シートにまとめ、児童生徒一人一人の学習状況を的確に捉えることにより、指導の改善を図ることができた。

課題

- 効果的・効率的な評価方法の工夫。
- 思考力・判断力・表現力をはぐくむ学習指導の在り方。

詳細は、3月発刊の研究紀要第39号をご覧ください。

研究室だより

今、研究室では

第十五次研究 三年次

研究主題「学力の確実な育成を図る指導と評価の在り方」
 ↳目標達成に向けた授業構築↳

研究員の実践

↳酸性の特性と水素イオンの関係について
 自らの考えをまとめ、表現するための言語活動↳

東神楽中学校三年 理科「酸・アルカリとその反応」

↳実験結果を適切に分析し、現象をイオンのモデルと

関連付けてみる見方や考え方を養う学習↳

研究員 堀川 誠二

一 本時の目標と指導の重点

本時の目標を「酸性の特性とイオンについての関係を調べる実験の結果を適切に分析し、酸性の特性と水素イオンの関係について自らの考えをまとめ、表現できるようにする。」とした。また、既習事項を基にして実験結果を予想したり、考察したことを説明したりする言語活動を行うことにより、自らの考えをまとめ、表現することができ、目標を達成できると考えた。

二 指導の重点に基づく分析

言語活動により、既習事項を振り返るなどしながら見通しをもって実験を行うことができた。また、イオンのモデル図を用いて自分の考えを整理し、論理的に考えることができた。さらに、モデル図を用いながら論理的に説明したり、他の生徒の考えを聞いて自分の考察を練り直したりすることで、科学的な根拠を基に自分の考えを説明することができた。

三 本時の目標達成状況

主に、実験結果を分析し、酸性の性質とイオンの関係についてノートにまとめる場面と目標達成状況を評価した。酸性の特性とイオンについての関係を調べる実験の結果を適切に分析し酸性の特性と水素イオンについて自らの考えをまとめ、表現でき、目標を達成することができたと考えられる生徒は、86%であった。なお、このうち、陽イオン、陰イオンが移動した根拠を明確にしながら説明でき、A「十分満足できる」と判断される生徒は11%であった。



**研究員の
実践**
く様子を想像させ、動作化と関連付けた発問の工夫

旭川市立緑が丘小学校一年 国語科「こえに だして よもう」
く場面を想像し、その様子が表れるように

声に出して読む学習

研究員 清杉 陽一

一 本時の目標と指導の重点

本時の目標を「子どもたちがくじらぐもに飛び乗るまでの様子を、動作化を通して想像を広げながら読み、音読の工夫を考えることができる」とした。また、くじらぐもに飛び乗ることができるまでの様子を想像させ、動作化と関連付けた発問を工夫することにより、音読の工夫を達成することができ、目標を達成することができると考えた。

二 指導の重点に基づく分析

発問の工夫により、くじらぐももの背中に乗るときの様子を考えさせ、音読の工夫を見付けることができた。また、くじらぐももの背中に乗るときの様子を動作を付けて考えさせ、動作化から音読の工夫につなげることができた。さらに、どこを工夫して声に出して読むか考えさせる発問をしたことにより、自分なりの音読の仕方を考えることができた。

三 本時の目標達成状況

主に音読の工夫を考えプリントに記入する場面で、目標達成状況を評価した。くじらぐももの背中に乗るときの三つの様子を基に、どのように音読を工夫したらよいかを考えることができ、目標を達成することができた児童は、91%であった。なお、そのうち、適切な工夫を三つとも考えることができ、A「十分満足できる」と判断される児童は、26%であった。



**協力校
の実践**
く友達が考えたことを説明したり、友達の考えを聞き、その考えを繰り返し説明したりする言語活動

鷹栖町立北野小学校四年 算数科「小数と整数のかけ算、わり算」
く小数と整数のかけ算・わり算の意味を確認し、

計算の仕方を考える学習

授業者 山崎 洋平

一 本時の目標と指導の重点

本時の目標を「余りのある小数÷整数の計算で余りの小数点の位置を0.1を基に考え、表現することができるようになる」とした。また、交流の場面で、友達が考えたことを説明したり、友達の考えを聞き、その考えを繰り返し説明したりする言語活動を取り入れることで、自分の考えを深め、友達とかわり合いながら高め合うことができ、目標を達成することができると考えた。

二 指導の重点に基づく分析

友達が考えたことを説明する言語活動を行うことにより、全員が余りの違いについて意識することができた。また、友達の発言を聞いたり、自分の言葉で説明したりすることにより、余りについて0.1を基にして考えることができた。

三 本時の目標達成状況

主に余りのある小数÷整数の計算の適用問題をノートに記述する場面において、目標達成状況を評価した。余りのある小数÷整数の計算で余りの小数点の位置を0.1を基に考え、表現することができた児童は、91%であった。なお、そのうち、理由を明確にしながら表現することができ、A「十分満足できる」と判断される児童は、47%であった。



協力校 旭川市立神楽岡小学校六年 算数科「立体の体積」
の実践 角柱及び円柱の体積の求め方から円柱の体積を類推させたり、気付きを促したりする発問の工夫

旭川市立神楽岡小学校六年 算数科「立体の体積」
 角柱及び円柱の体積の求め方を理解する学習
 授業者 小野 慎二

一 本時の目標と指導の重点

本時の目標を「必要な部分の長さを用いることで、円柱の体積は計算によって求められることを理解できるようにする。」とした。また、角柱の体積や円の面積の求め方から円柱の体積の求め方を類推させたり、気付きを促したりする発問を工夫することにより、角柱と円柱の類似点や相違点に気付くことができ、目標を達成することができると考えた。

二 指導の重点に基づいた分析

発問の工夫により、角柱と円柱の類似点と相違点を考え、円柱も角柱と同じように体積を求められることを理解し、円柱の体積を計算によって求めることができた。

三 本時の目標達成状況

主に円柱の求め方と公式を理解して練習問題を記述する場面において、目標達成状況を評価した。必要な部分の長さを用いることで円柱の体積は計算によって求められることを理解でき、目標を達成できた児童は、100%であった。なお、そのうち、底面と高さを適切に捉えることで円柱の体積を計算によって求めることができ、A「十分満足できる」と判断される児童は、81%であった。



協力校 旭川市立神楽中学校二年 数学科「図形の調べ方」
の実践 多角形の角の性質について考察する学習
 板書の工夫とノート指導

旭川市立神楽中学校二年 数学科「図形の調べ方」
 多角形の角の性質について考察する学習
 授業者 玉置 英樹

一 本時の目標と指導の重点

本時の目標を「平行線の性質や、多角形の内角や外角の和の考え方をを用いて問題に取り組み、具体的な角の大きさを求めることができる。」とした。また、角の大きさを求める活動の中で自分の考えと、他の解き方を比較させるための板書を工夫したり、ノートの取り方を工夫させたりすることにより、目標を達成することができると考えた。

二 指導の重点に基づいた分析

板書の工夫により、黒板掲示用の図形が書かれた用紙を使用して、順序よく角の大きさの求め方を取り上げることで自分の考えと、他の解き方をより効果的に比較、検討させ、具体的な角の大きさを求めることができた。

三 本時の目標達成状況

主に練習問題を解く場面において、目標達成状況を評価した。平行線の性質や多角形の内角や外角の和の考え方を用いて、具体的な角の大きさを求めることができ、目標を達成できた生徒は、95%であった。なお、そのうち、複数の考え方の中から選択し、効率よく具体的な角の大きさを求めることができ、A「十分満足できる」と判断される生徒は、46%であった。



(5)

3 学級経営② 10/3

三浦 礼子 (高台小 教頭)
江口 雅史 (共栄小 教諭)
関田 恒星 (旭川小 教諭)
築瀬 充宏 (東明中 教諭)

|| 講師 ||



学級経営で重要なことを学ぶことができて、大変有意義な研修でした。正しい姿勢やあいさつなど、基本的なことができるところや信頼関係を築く大切さを実感いたしました。たくさんのおアドバイスをありがとうございました。

(旭川市立緑新小学校 杉本 綾美)

研修講座寸描

その3

講座の様子から

27 保健安全指導 10/4

|| 講師 ||

中村 庄二 (上富良野野西小 教頭)
林 直樹 (永山西小 教諭)



安全教育の現状、授業実践、視覚資料の紹介等、今後の実践に役立つ大変有意義なものでした。「防災は、将来的に必要なもの」という危機意識をもたせる言葉が印象的でした。豊富な資料を基にご指導いただきありがとうございました。

(旭川市立共栄小学校 伊藤 悟士)

28 学級活動 10/8

|| 講師 ||

関 健太 (忠和中 教諭)
袋田佳奈恵 (東鷹栖中 教頭)



生徒一人一人が生き生きと話し合い活動に参加する様子から、日頃の学級経営があつてこそその学級活動であるということが、改めて感じることができました。この貴重な学びを、生徒との関わり合いの中で生かしていきたいと思えます。

(旭川市立神居東中学校 村井 歩)

13 社会科指導 7/29・10/8

|| 講師 ||

坂井 誠亮 (教育大 准教授)
藤弘 亨 (旭川第五小 教頭)
駒津 和康 (大有小 教諭)
高橋 章友 (神居東中 教諭)



社会的現象を多面的・多角的に追究する方策を非常に多く学ぶことができました。とりわけ「子どもに身近な事象」「体験活動」を通して、子どもにとって実感のわく教材化の工夫の大切さを学びました。ありがとうございました。

(富良野市立布礼別中学校 佐々木貴大)

29 社会教育 10/9

講師

吉田 貴彦 (旭川医科大学健康科学講座教授)

棚橋 亨 (上川教育局教育支援課社会教育指導班主査)

田中 亜以 (鷹栖町教育委員会教育課社会教育係主任)

渡辺 英次 (絆企画設計社長)



学校と地域・家庭が連携して子どもを育てるために行われている実践を聞くことにより、連携の必要性や重要性をさらに深く学ぶことができました。講師の皆様、貴重な情報を提供していただき、ありがとうございます。

(士別市立多寄中学校 小島 紀行)

18 生徒指導 8/2・10/10

講師

福澤 秀 (春光台中 教頭)

田村 貴史 (陵雲小 教諭)

岡田 哲 (忠和中 教諭)



今回の講座では、児童生徒理解を深めていくための生徒指導と教育相談のかかわりについて、実践的に学ぶことができました。改めて生徒指導における教育相談の重要性を考え、理解することができました。たくさんのご指導、大変ありがとうございました。

(富良野市立麓郷小中学校 田中 貴博)

20 道徳教育 8/6・10/16

講師

竹本 克己 (教育大教職大学院 教授)

内藤 晃宏 (旭川第一小 教頭)

今井かおり (春光小 教諭)

虻川 謙 (永山中 教諭)



二日間の講座で道徳の時間の授業づくりについてはもちろんのこと、これからの道徳教育の重要性についても学ぶことができました。また、指導上の悩みを多くの学校の方たちと共有できたことも、この講座の大きな成果でした。

(占冠村立占冠中央小学校 岸本 将裕)

30 体育科実技 10/17

講師

小出 高義 (教育大 准教授)

今 祐一郎 (東光中 教諭)



研究授業では、安全への配慮がきちんとルーIALIZEDされた中、子どもたちが楽しみながら柔道に取り組んでおり、とても参考になりました。小出先生の講義では、歴史的背景から技術的な指導法まで、細かく指導していただきました。大変ありがとうございました。

(富良野市立富良野西中学校 半田 悠平)

(7)

31 書に親しもう 1/8

小嶋 康博 (東明中 校長)
 講師



書写実技を通じ、講座テーマにあるように「書に親しむ」ことができました。二時間集中した作品づくりで充実感がありました。また、児童生徒に教える立場として、実技研修、体験を積む大切さを改めて知る機会になりました。
 (剣淵町立剣淵小学校 久川 聡)



32 絵に親しもう 1/8

薄葉 郷子 (向陵小 教諭)
 講師

パステルを使っての絵画を体験することができ、新しい絵の楽しみ方を学んだり味わったりすることができました。特に、パステルを指でこすったり伸ばしたりして、色を混ぜるなどの技法にパステル画の魅力と奥深さを感じました。
 (当麻町立当麻小学校 浜頭 恭子)

33 ミニ道研A 1/9

長浦 紀華 (北海道立教育研究所企画・研修部 研究研修主事)
 講師



学習評価のポイントや言語活動の充実を図る指導の在り方等、学習指導の基本的な考え方について学ぶよい機会でした。目標を達成するための手段として、効果的な言語活動を取り入れた指導の必要性を実感しました。
 (名寄市立東風連小学校 川島 一毅)



キャリア教育への理解を深めるため受講しました。目標と実態との差から課題を見出し、その解決のために教育活動を整理し、体系的・系統的な指導を行うという実践の仕方を、説明や演習、協議を通して理解することができました。
 (南富良野町立落合小学校 上野 健太)

34 ミニ道研B 1/10

長浦 紀華 (北海道立教育研究所企画・研修部 研究研修主事)
 講師
 土屋 靖雅 (同研究所研究・相談部 研究研修主事)
 坂見 明信 (同研究所研究・相談部 研究研修主事)

平成 26 年度 上川教育研修センター開催予定講座

番号	講座名	期日	研修内容の概要（上段：講座名 下段：平成 26 年度の重点テーマ）	授業	
1	学校事務実務	5 / 13・14	教育活動の円滑化を図る学校事務実務 「学校事務における今日的課題～教育予算における現状と今後の課題～」		
2	特別支援教育	5 / 14 ① 6 / 13 ②	一人一人に応じた指導の充実を図る特別支援教育 「障がいのある児童生徒の生きる力をはぐくむ学習指導と評価の在り方」 (②で授業研究)	小・中	
3	学級経営	5 / 15 ① 10 / 8 ②	子ども一人一人が存在感を実感できる学級経営 「家庭や地域社会との交流による充実した学級経営」 (②で授業研究)	小・中	
4	学校経営Ⅰ	6 / 11	新しい時代に対応した学校経営（採用 2 年目以降の校長が対象） 「未来を切り拓く活力ある学校経営の在り方」		
5	学校経営Ⅱ	6 / 12	新しい時代に対応した学校経営（昇任 2 年目以降の教頭が対象） 「スクールリーダーとしての教頭の在り方」		
6	読書活動	6 / 18	「読む・調べる」習慣の確立を目指す読書活動 「教科・領域の指導に生かす学校図書館」	小	
7	図工・美術科実技	6 / 27	豊かな情操を養う図工・美術科実技 「『造形あそび』における学習指導」	小	
8	複式教育	7 / 1	主体的に学ぶ力を育てる複式教育 「主体的な活動を促す指導と評価の在り方」	小	
9	小学校外国語活動	7 / 2	言語や文化について体験的に理解を深める小学校外国語活動 「担任やALTによる効果的な指導の在り方」	小	
10	国語科指導	7 / 28 ① 9 / 3 ②	伝え合う力をはぐくむ国語科指導 「伝え合う力を高める指導の工夫～『読むこと』における指導～」 (②で授業研究)	小・中	
11	社会科指導	7 / 29 ① 10 / 1 ②	社会的な見方や考え方を養う社会科指導 「社会的事象の意味を考え、表現する力を育てる指導の工夫（言語活動）」 (②で授業研究)	小・中	
12	算数・数学科指導	7 / 30 ① 8 / 28 ②	目的意識をもって主体的に取り組む態度を育てる算数・数学科指導 「算数・数学的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付く授業の在り方」 (②で授業研究)	小・中	
13	外国語科（英語）指導	7 / 30 ① 9 / 2 ②	コミュニケーション能力の基礎を養う外国語科（英語）指導 「外国語表現の能力や外国語理解の能力を高める指導の充実」 (②で授業研究)	中・小	
14	教育講演会	7 / 31	講師 深代 千之 氏（東京大学大学院総合文化研究科教授） テーマ 「確かな学力の基礎となる運動の重要性」		
15	理科指導	8 / 1 ① 9 / 2 ②	科学的な見方や考え方を育てる理科指導 「地学的な事象・現象に対する科学的な見方や考え方の育成」 (②で授業研究)	小・中	
16	生徒指導	8 / 1 ① 10 / 9 ②	児童生徒の自己実現を目指す生徒指導 「児童生徒理解や指導の改善に生かす教育相談の在り方」 (②で授業研究)	小・中	
17	道徳教育	8 / 4 ① 10 / 15 ②	豊かな体験を生かす道徳教育 「家庭・地域の連携による道徳教育の充実」 (②で授業研究)	小・中	
18	生活科・総合的な学習の時間	8 / 4 ① 10 / 10 ②	気付きの質を高める生活科・探求的な学びを深める総合的な学習の時間 「小・中の連携を図る福祉・ボランティア教育の充実」 (②で授業研究)	小・中	
19	幼稚園教育	8 / 5	小学校への滑らかな接続を目指す幼稚園教育 「連携・交流活動と学びの連続性」		
20	いじめ・不登校	8 / 6	一人一人を大切に「いじめ・不登校」を未然に防ぐ指導 「『いじめ・不登校』を未然に防ぐ指導の充実」		
21	学級活動	8 / 27	望ましい人間関係とよりよい生活を築く学級活動 「健康・適応安全の指導の充実」	小	
22	音楽科実技	8 / 27	自らの感性を豊かに働かせて主体的に表現する力を育てる音楽科実技 「音楽づくり（小）・創作（中）の指導法の在り方」	中	
23	技術・家庭科実技	8 / 29	生活を工夫し創造する技術・家庭科実技 「衣生活・住生活と自立」	小	
24	指導技術基礎	9 / 3	指導力の向上を図る指導技術基礎 「基礎的な指導技術～電子黒板等の活用および接遇とマナー、望ましいコミュニケーション～」	中	
25	校内研修	9 / 9	実践的指導力を高める校内研修 「校内研修の成果と生かし方」	小	
26	国際理解教育	10 / 2	国際社会で活躍する人材の育成を目指す国際理解教育 「国際社会を考える学習指導」	小	
27	保健安全指導	10 / 2	生命を大切に、豊かな心をはぐくむ保健安全指導 「子どもの心の発達と支援の在り方」	中	
28	社会教育	10 / 7	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの生きる力を育む社会教育 「豊かな人間性と感性を育む実践 ～『家読』の推進～」		
29	書写実技	10 / 7	日常に生きて働く書写力を育てる書写実技 「硬筆と毛筆を関連させ、日常に生かす態度を養う学習指導」	中	
30	体育科実技	10 / 14	運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、体力の向上を図る体育科実技 「体づくり運動、表現運動、ダンス」	小	
31	書に親しもう	1 / 7	自分なりの表現で書に親しむ文化講座 「心に残る言葉を題材にした小作品づくり」（午前 半日日程）		
32	絵に親しもう	1 / 7	自分なりの表現で絵に親しむ文化講座 「墨絵で心を伝える作品制作」（午後 半日日程）		
33	ミニ道研 A	未定	北海道立教育研究所によるコース別研修 ～現在、内容等調整中 詳細は 4 月配布の開催要項をご覧ください～		
34	ミニ道研 B	未定	北海道立教育研究所によるコース別研修 ～現在、内容等調整中 詳細は 4 月配布の開催要項をご覧ください～		
35	研修センター研究発表会	2 / 3	「学び合いで確かな学力を育てる学習指導の在り方」に関する第 16 次 3 か年計画の 1 年次の研究を発表～センター研究員の実践、研究協力校の実践～		
パソコン実技	A	校務のための表計算入門	6 / 6 7 / 30 10 / 31	成績や会計をはじめ、さまざまな校務に応じた表計算ソフトの基本的な操作について	
	B	1 校務のための表計算活用	7 / 28 11 / 14	成績や会計をはじめさまざまな校務に応じた表計算ソフトの便利な活用について	
	B	2 小学校の校務に生かす表計算活用	7 / 11	小学校の校務に特化した表計算ソフトの便利な活用について	
	B	3 校務に生かす表計算個別課題解決	8 / 6	中学校の校務に特化した表計算ソフトの便利な活用について	
	C	学校で役立つ画像処理	6 / 27	視覚に訴える教材や各種通信、掲示物の作成に活用できる画像処理について	
	D	学校で役立つ Web 制作	5 / 30	WEB サイトの作成方法や管理、個人情報の取扱いや情報発信の在り方について	
	E	学校で役立つプレゼン活用	8 / 5 1 / 15	授業や各種発表会で効果的に活用するプレゼンテーションソフトの活用について	
F	学校で役立つ動画編集	1 / 13	動画編集ソフトの基本操作の習得と編集した動画の活用について		
G	学校で役立つタブレット PC	8 / 4 1 / 16	タブレット PC の基本的な操作や授業での活用法について		

～正式な日程は、4 月にお届けする「研修講座開催要項」でご確認ください。～

(9)

出前講座寸描

複式学級における

算数科指導について学びたい
【講師】 倉橋 昭彦 教諭(神楽岡小)

この度「複式教育」について、倉橋先生から授業の進め方や注意点を教えていただきました。同時進行の授業の進め方、学習リーダーの役割、プリントの使い方など、身をもって学ぶことができました。ご指導ありがとうございました。

(富良野市立樹海小学校 吉澤 賢吾)

樹海小学校「複式教育」7/19



美深小学校「生徒指導」8/20



ピア・サポートの在り方について学びたい
【講師】 井上 重美 上級教育カウンセラー
前段の講義では、ピア・サポートとは何かという基本的なところから、その必要性にも触れていただき、理解を深めることができました。また、ウォーミングアップ等の具体的なトレーニングも体験でき、今後の指導に生かしたいと感じました。ご指導ありがとうございました。

(美深町立美深小学校 倉家 亨)

緑新小学校「絵画指導」8/30



水彩画指導の在り方について学びたい
【講師】 大山みのり 教諭(愛宕小)
講話を通して、絵画指導では子ども一人一人の思いを大切にしながら進めることが重要だと気付くことができました。また、ご指導頂いた様々な技法を生かし、今後の指導の幅を広げていきたいと思えます。ご指導ありがとうございました。

(旭川市立緑新小学校 川原かなえ)

多寄小学校「算数科指導」8/28



問題解決の授業について学びたい
【講師】 武田 要 教諭(近文小)
算数科における多様な考えの取り上げ方についてお話をしていただきました。本時の目標を踏まえて、どのように考えを取り上げ、比較検討したらよいかのかがわかり、大変勉強になりました。ご指導ありがとうございました。

(士別市立多寄小学校 野口 美保)

音威子府中学校「校内研修」10/21



言語活動を充実させるための工夫について学びたい
【講師】 森田 聖吾 教頭(旭川第二中)
本校の研究主題である「伝え合う力の育成」を推進していくためには、場面に応じた言語活動を取り入れることが大切であるということを、理科の実践例を中心にご講義いただきました。今後も研鑽に努めます。ご指導ありがとうございました。

(音威子府村立音威子府中学校 高橋 綾)

上教研北部地区書写班「書写実技指導」10/1



行書や楷書の指導について学びたい
【講師】 吉田 祥子 教諭(神居中)
今回の研修講座では、実技研修として行書や楷書の書き方や、生徒への範書の示し方等を教えていただきました。中でも、空書のリズム感やポイントを大げさに書く範書等、すぐに授業で生かせるお話がきけて、充実した研修となりました。

(名寄市立智恵文小学校 野田有希子)

【講師】 日比野正人 教頭(台場小)
キャリアというワードだけで負担に感じていましたが、基礎的・汎用的能力を育成すること…つまり今の本校が取り組んでいることと大差のない点、具体的実践への手立てをご指導頂きました。職員一致して推進の一步を踏み出せそうです。

(旭川市立豊岡小学校 岸 美香)

複式教育の特質についてご講話頂き、小規模校のよさについて捉え直すことができました。複式校における算数科を窓口とした研修の実践例を示して頂き、本校の研修内容をより膨らませる事ができました。ご指導ありがとうございました。

(士別市立温根別小学校 永井 沙織)

名寄東中学校「特別支援教育」10/29



特別な支援を必要とする生徒の理解と対応について学びたい
【講師】 宮越けんじ 教諭(永山南中)
「先入観をもたず」という言葉が印象に残りました。子どもたちに対して向き合い直すべきだと思いましたが、情報に敏感になり、新しい知識を増やしていくことで子どもたちに還元できることも改めて感じました。

(名寄市立名寄東中学校 工藤 綾乃)

温根別小学校「複式教育」5/23

名寄東小学校「ICTの活用」7/3

【講師 橋本 尚成 教諭(陵雲小)】
講座の中でICT機器を活用して、体験的に活用方法を紹介していただき、本校の研究をすすめる際の具体的なヒントをいただきました。また、ICT環境を整備する上での留意点等を教えていただきました。ご指導ありがとうございました。
(名寄市立名寄東小学校 大島 慎吾)

多寄中学校「道徳教育」7/17

【講師 大角 勝之 教頭(朝日中)】
いじめ対応の道徳の授業を、実践例をもとに講話していただき、授業づくりの視野が広がりました。同じ教材でも発問により、様々な角度から授業を組み立てることや、生徒に理解してほしいことを生徒自身の言葉で発言させることが大切だと学びました。ご指導ありがとうございました。
(士別市立多寄中学校 萩原 崇行)

出前講座のご活用

【講師 森田 聖吾 教頭(旭川第二中)】
大町小学校「特別支援教育」8/16
【講師 宮越けんじ 教諭(永山南中)】
中頓別中学校「学方向上と小中連携」8/22
【講師 上中 芳昭 教頭(明星中)】
旭川第三小学校「版画指導」8/30
【講師 宮崎真理子 教諭(末広北小)】
多寄小学校「木版画指導」11/25
【講師 大山のり 教諭(愛宕小)】
永山小学校「国語科指導」2/17
【講師 千葉 昌之 教諭(大有小)】

次年度も各校のニーズにお応えします。どうぞご活用ください。

心に残る授業 その68



上川教育局
義務教育指導班
指導主事
飯塚 俊 郎

児童生徒の体力の低下や二極化が全国的な課題となっている、体育、保健体育科教育においては、それぞれの運動が有する特性や魅力に応じた指導内容を整理し、体系的な指導を行うことで、基礎的な身体能力等を身に付けるとともに、生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむことができる意欲や態度を育てることが求められております。

私が参観しました心に残る授業は、教師の計画的な指導のもと、効果的にICT機器を活用することにより、生徒が主体的に学習に取り組む、仲間と関わり合いながら課題解決を図り、運動ができる喜びを実感することのできる授業であります。

本授業は、中学校第二学年の器械運動(マット運動)であり、新しく学ぶ基本的な技である「頭はねおき」や「側方倒立回転」、発展技の「前

方倒立回転跳び」などについて、生徒自身が自分の課題を把握し、技を確実に行うポイントを見付けるというものであります。

教師は、学習課題の提示後、ICT機器を活用し、動画でそれぞれの技を確認するとともに、局面におけるポイントを示していました。

その後、グループ内で自己の課題解決に向けて、ICT機器で互いの練習の姿を撮影し、撮影した動画を見ながら足の振り上げ方や着地足の位置などについて話し合い、授業の終末には、力強く足を振り上げ、高さのある「頭はねおき」などを成功させる姿が見られました。

私は、このような生徒の姿が多く見られた本授業は、ICT機器の効果的な活用はもちろんですが、教師が、生徒の主体的な思考の時間の確保や生徒の実態に応じた、予備的な運動の工夫など、綿密に構想した単元の指導計画が本時の目標達成につながっていたと感じ、教師の深い教材研究に基づく授業づくりに対し、大変、感銘を受けました。

今後も上川管内の各学校で、このように児童生徒が生き生きと輝く授業が展開されることを期待しております。

研修センターの貸室等のご利用料金が変わります

◎4月1日から消費税の引き上げに伴い、センター使用条例施行規則が改正され、貸室等の料金が次のようになります。ご理解とご協力をお願いします。

貸室使用料(承認団体)

室名	午前(9~12時)	午後(13~17時)	夜間(18~21時)
講堂	1,350円	1,510円	2,160円
講堂A・B	680円	760円	1,080円
研修室及び会議室	540円	650円	920円
和室	270円	320円	430円

貸室冷暖房料

室名	午前(9~12時)	午後(13~17時)	夜間(18~21時)
講堂	1,080円	1,290円	1,620円
講堂A・B	540円	650円	810円
研修室及び会議室	540円	640円	860円
和室	320円	320円	320円

備品貸出料金

区分	料金	備考
プロジェクター等	430円	旧料金 420円
マイクロホン	1本 320円	旧料金 310円

発行日 平成二十六年三月一日
責任者 上川教育研修センター
印刷所 旭川市六条通四丁目
株式会社あいわプリント
電話〇一六六二四二五〇一
電話〇一六六二四二五〇一
電話〇一六六二四二五〇一
電話〇一六六二四二五〇一

※この用紙は再生紙(古紙70%)を使用しています。